

下水道の役割

- ◎汚水処理による公衆衛生の向上
- ◎川や海など公共用水域の水質保全
- ◎雨水排除による浸水防除
- ◎エネルギー資源を創る

鎌倉市下水道事業の課題

施設の
老朽化

地震・津波
対策

浸水対策

使用料の
適正化

未利用資源の利
活用（中水・汚
泥の活用等）

社会資本整備総合交付金

計画名：古都鎌倉の水環境を守る下水道整備計画

- 計画期間：平成28年度(2016年度)～令和2年度(2020年度)の5年間
- 対象事業：汚水の未普及対策や浸水対策など整備に関する事業
- 要素事業名：
 - A07-001 鎌倉山地区枝線整備事業
 - A07-002 深沢地区枝線整備事業

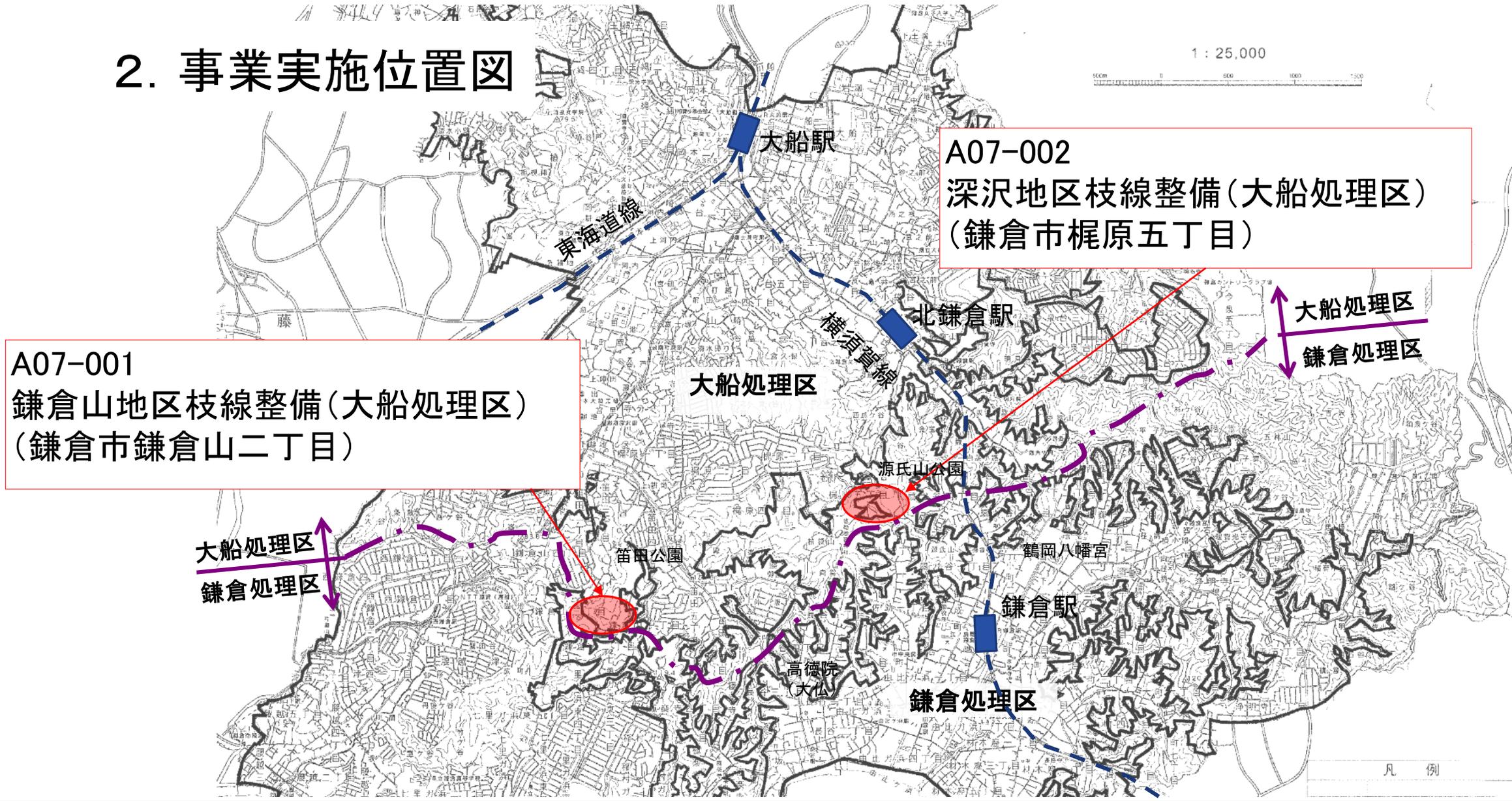
都市整備部 下水道河川課

1. 事業の目的

- 生活環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を図るため、下水道未普及対策として市街化調整区域の污水管渠の整備を行う。

※ 市街化区域の整備が概ね完了したことから、平成22年度から市街化調整区域の整備を始めた。

2. 事業実施位置図



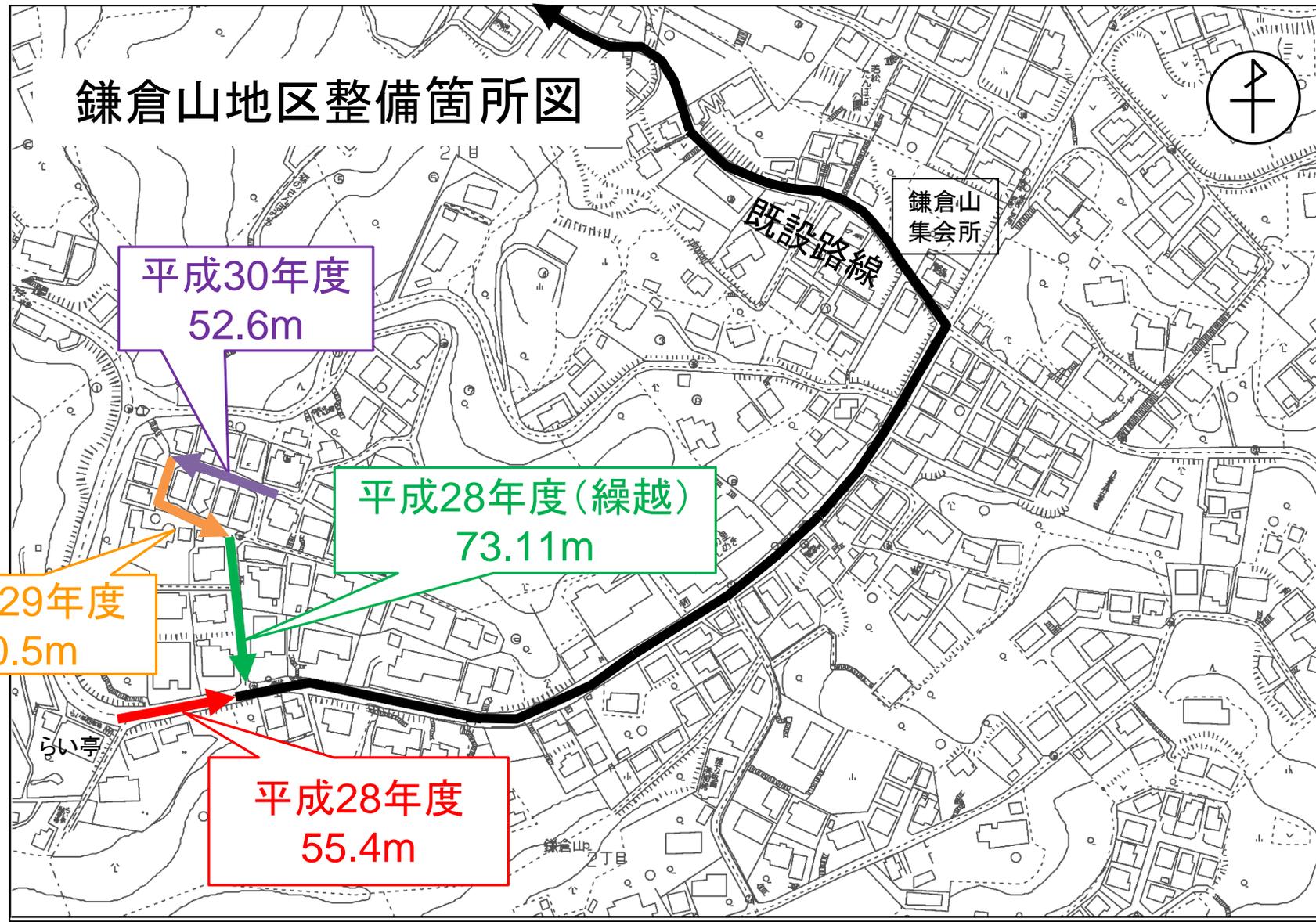
A07-001
鎌倉山地区枝線整備(大船処理区)
(鎌倉市鎌倉山二丁目)

A07-002
深沢地区枝線整備(大船処理区)
(鎌倉市梶原五丁目)

3. 5年間の整備経過

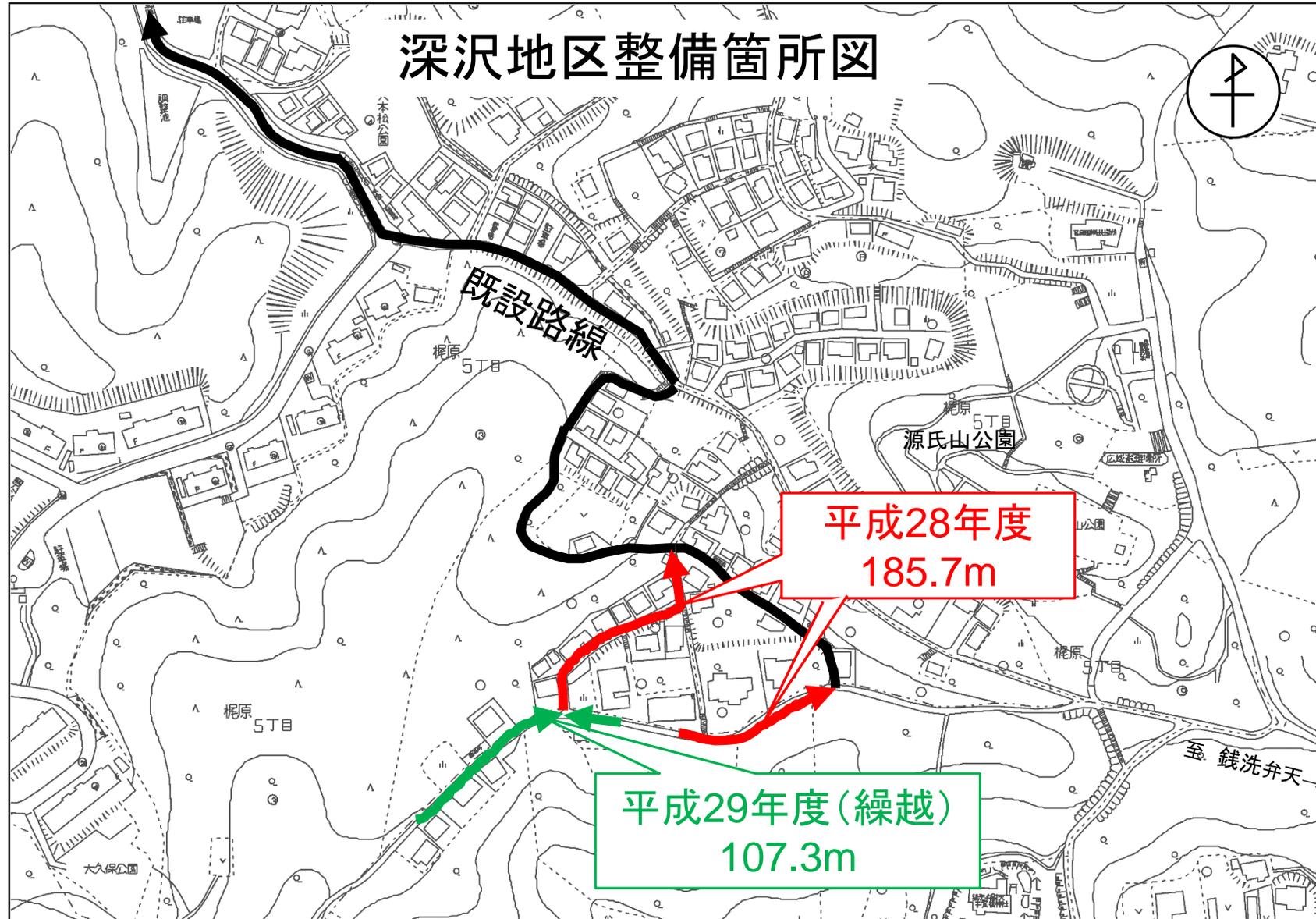
ア) 鎌倉山地区

	整備延長	整備面積	交付対象 事業費(実績)	交付対象事業費 (計画)
平成28年度	55.4m	0.30ha	13百万円	7百万円
平成28年度 (繰越明許)	73.11m	0.22ha	5百万円	5百万円
平成29年度	50.5m	0.32ha	9百万円	6百万円
平成30年度	52.6m	0.17ha	8百万円	6百万円
合計	231.61m	1.01ha	35百万円	24百万円



イ) 深沢地区

	整備延長	整備面積	交付対象 事業費(実績)	交付対象事業 費(計画)
平成28年度	185.7m	0.5ha	17百万円	16百万円
平成29年度 (繰越)	107.3m	0.22ha	12百万円	3百万円
合計	293m	0.72ha	28百万円	26百万円



4. 管渠整備方法

開削工法



開削工法による掘削状況



φ200mm管布設状況



マンホール据付状況



開削工法で使用するバックホウ



舗装復旧状況



完了

5. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

- 計画の成果目標(定量的指標)

下水道処理人口普及率を97.1%(H28)から97.3%(H32)に増加させる。

※元号については、当初の成果目標時の元号にて記載

最終目標値	97.3%
最終実績値	97.7%

I 定量的指標に関連する交付対象事業の発現状況

汚水管の整備により生活環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全が図られた。

- 今後の方針等

他の整備地区の要望や、整備に係る事業投資効果などを考慮し、整備時期を検討していく予定。